



神田外語大学をはじめとする7大学が主催 「7大学連携スポーツ・リベラルアーツ講座」をオンラインで 無料開講します

神田外語大学(千葉県美浜区/学長宮内孝久)をはじめとする慶應義塾大学、上智大学、筑波大学、東京大学、立教大学、早稲田大学の7大学で構成される7大学連携スポーツ・リベラルアーツ講座実行委員会は、12月12日(土)、13日(日)の2日間、2020年度「7大学連携スポーツ・リベラルアーツ講座－スポーツを通じた社会貢献－」を開催します。これは、スポーツを軸に社会・人文・自然科学分野の幅広い教養を高める機会の創出し、グローバル社会で活躍できる教養人の育成を目的としています。オリンピック及びパラリンピック、そしてスポーツやその関連分野に興味のある学生を対象に、「グローバル社会におけるスポーツの多様性」「東京2020大会の意義や21世紀のスポーツ」という2つのテーマの講座を開講。7大学の特色を生かしたコンテンツとなっています。3回目の開催となる今年度は、コロナ禍における学生支援としてオンラインで開催し、特別に受講料は無料としています。

神田外語大学をはじめとする慶應義塾大学、上智大学、筑波大学、東京大学、立教大学、早稲田大学の7大学が主催する本講座は今回で3回目の開催となります。2018年度に第1回を開催してから、これまで通算150名以上が受講しました。この講座では、スポーツを軸に大学領域を越えた社会・人文・自然科学分野の幅広い教養・教育について考え、グローバル社会で活躍できる教養人の育成を目指しており、今年度はコロナ禍における学生支援として受講料は無料とし、オンラインで開催します。

1日目は大学スポーツ協会会長で前早稲田大学総長の鎌田薫氏による特別講演『大学スポーツが目指す21世紀のスポーツ教育』、筑波大学教授の真田久氏による『オリンピック・パラリンピック歴史と教育』などが予定されています。また、2日目には東京オリンピック・パラリンピック担当 国務大臣の橋本聖子氏による特別講演『東京2020大会にむけて』、2012年ロンドンオリンピック男子フルーレ団体で銀メダルを獲得した千田健太氏による『アスリートに学ぶ人間力』、東京大学先端科学技術研究センター教授の稲見昌彦氏による『ポストコロナの新しいスポーツの創造』など、本講座ならではの内容となっています。以下は詳細です。

◆2020年度7大学連携スポーツ・リベラルアーツ講座実施概要

【開催日程】

<1日目> 2020年 12月 12日(土)

会場:オンラインキャンパス (Zoom)

テーマ:グローバル社会におけるスポーツの多様性

<2日目> 2020年 12月 13日(日)

会場:オンラインキャンパス (Zoom)

テーマ:東京2020大会の意義や21世紀のスポーツ

【主催】7大学連携スポーツ・リベラルアーツ講座実行委員会

(神田外語大学、慶應義塾大学、上智大学、筑波大学、東京大学、立教大学、早稲田大学 ※大学名五十音順)

【対象・定員】大学生(200名)

【受講料】無料(全2日間) ※コロナ禍における学生支援として、今回は無料

※申し込みは締め切りました

【詳細】WEBサイトをご覧ください

<http://7universities-sla.mystrikingly.com/>



本学から配信されるプレスリリースはSDGsに基づいた教育環境充実の一環として、UD(ユニバーサルデザイン)フォントで作成されています。<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/news/52433/>

▼本件に関する報道関係の方の問い合わせ先

学校法人佐野学園 グループコミュニケーション部 栗城

TEL: 03-3258-5837(平日 9:30~17:00) FAX: 03-5298-4123 MAIL: media@kandagaigo.ac.jp

